FANCL

第24期中間事業報告書

平成15年4月1日～平成15年9月30日

株式会社ファンケル

代表取締役会長
池 森 賢 二

代表取締役社長
藤 原 謙 次

新たな成長ステージを目指して

株主のみなさまには平素より格別のご支援ならびにご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。当中間期（平成15年4月～平成15年9月）のファンケルグループ連結決算について概要をご説明申し上げます。

当中間期の連結業績について

化粧品関連事業については、ファンケル化粧品のリニューアルしたメーク製品やボディケア新製品が売上を伸ばし、またアテニア化粧品も堅調に推移しましたが、基幹事業であるファンケル化粧品の顧客数の減少や基礎化粧品の売上減少が大きく影響し、減収となりました。健康食品関連事業では、通信販売の売上は顧客数の減少により前年同期を下回りましたが、店舗販売が好調だったことにより、売上はほぼ横ばいとなりました。その他事業においては、発芽玄米事業やNGC通販事業が振るわず、青汁事業が大幅に売上を伸ばしたものの、減収となりました。以上の結果、当中間期の売上高は41,198百万円（前年同期比5.4%減）、経常利益は5,163百万円（前年同期比12.9%減）、中間純利益は2,231百万円（前年同期比27.5%減）となり、株主のみなさまのご期待に添えず、心よりお詫び申し上げます。

中期経営計画について

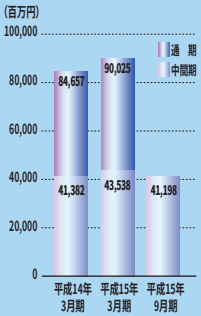
ファンケルグループは創業以来「“不”のつく事柄を解消する仕組みづくり」を経営の基本方針とし、無添加化粧品、健康食品、発芽玄米、青汁などの事業を通じて業界の常識に挑戦してまいりました。しかしながら市場環境の変化などにより、売上および利益面においてこれまでのような成長が望めなくなってまいりました。そのような状況のなか、現状の延長線とは一線を画した新しいファンケルグループの確立を目指すことが不可欠であると判断し、当期経営の体制を一新したこともあり、次期（平成17年3月期）を初年度とする「中期三ヶ年経営計画」を策定いたしました。当グループは、この中期経営計画を軸として変革と挑戦に取り組み、新たな成長を目指してまいります。

株主のみなさまにおかれましては、今後とも倍旧のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

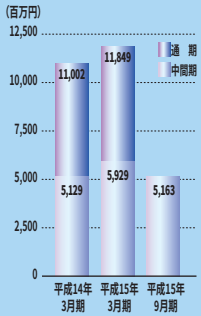
連結財務ハイライト

	当中間期（百万円）	対前中間期（%）
売上高	41,198	△5.4
化粧品関連事業	16,954	△8.4
健康食品関連事業	14,230	0.1
その他事業	10,013	△7.4
経常利益	5,163	△12.9
中間純利益	2,231	△27.5
１株当たり中間純利益（円）	100.53	△23.8
総資産	79,353	0.6
株主資本	66,766	1.0

売上高



経常利益



中期三ヶ年経営計画

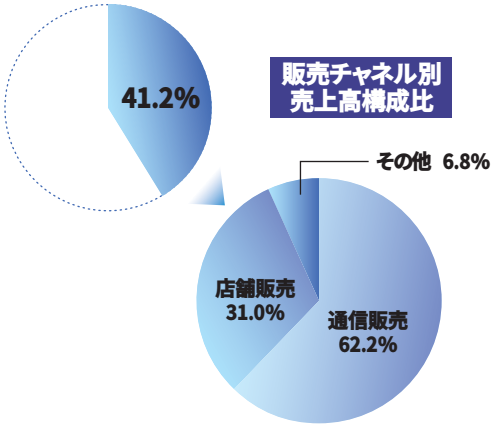
FANCL Change & Challenge Plan
「もう一度成長を取り戻すプラン」

成長性と収益力の回復を目指し、
①各事業の位置付けと方向性の明確化
②製品と販売チャネルの最適化
を図ってまいります。

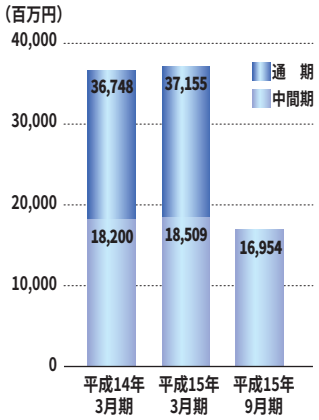
各事業の位置付け		事業の方向性	販売チャネル
コア事業（収益性を目指す）	化粧品関連事業	・ファンケル化粧品は主力製品を明確にし、機能性を重視した製品開発を進める	・それぞれの事業に適した販売チャネルの強化 ・積極的な店舗出店
	健康食品関連事業	・主力製品を明確化するとともに多品種の品揃えを整理 ・研究開発力を基盤として独自素材をベースにした高付加価値製品を投入	
成長事業（成長性を目指す）	発芽玄米事業 青汁事業	・品質面の優位性を確保し、売上の拡大と流通の効率化により収益性の改善を図り、黒字化を目指す	

化粧品関連事業

事業別 売上高構成比



売上高



化粧品関連事業の売上高は、16,954百万円（前年同期比8.4%減）となりました。

通信販売の売上高は10,551百万円（前年同期比6.6%減）となりました。ファンケル化粧品では、5月に「シェイプ デザイン ボディローション」を発売し、9月には無添加メーク「ベルメール」の大幅なリニューアルを行うなどの活性化策を行いましたが、顧客数の減少および「フェナティ」を中心とした主力の基礎化粧品の低迷が影響し、売上高は6,818百万円（前年同期比16.2%減）となりました。一方アテニア化粧品では、効果的な広告宣伝・販売促進活動により顧客数は過去最高を記録し、美白関連製品や美容液を中心にリニューアルと新製品の投入を行った結果、売上高は3,732百万円（前年同期比18.1%増）となりました。

店舗販売は、4月にオープンした銀座ファンケルスクエアの売上が貢献しましたが、回復基調にあった既存店の売上高が減少に転じ、5,256百万円（前年同期比8.8%減）となりました。

その他の販売チャネルでは、株式会社ローソンでの日販金額の伸び悩みとSARSの影響などによる香港向け売上の減少により、1,146百万円（前年同期比20.8%減）となりました。

Close Up

リニューアル新発売!

無添加スキンケアメークブランド「ベルメール」

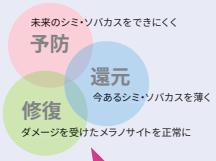
ファンケルの無添加メークシリーズ「ベルメール」がスキンケアメークとして生まれ変わりました。無添加のやさしさはそのままに、高い機能性を実現した新「ベルメール」は、メークのもつスキンケア効果で敏感肌に“美しくなる力”を与えるトータルメークブランドです。「敏感肌だけど、常に理想の美しい肌を演出したい。」そんな願いを叶えるのが新「ベルメール」シリーズです。

Point

使うほど理想の美肌に！ 新生「ベルメール」

1. スキンケア効果アップ . . . 肌がもつ美しくなる力をひきだします
2. メーク機能アップ . . . . . 美しい仕上がり。鮮やかな発色
3. 肌へのやさしさアップ . . . やさしさへのこだわりは、とことん限りなく
4. 使いやすさアップ . . . . . デザインも使い勝手もさらに進化しました

進化した無添加美白「ホワイトエッセンス SP」



ファンケルは、パーフェクトな美白ケアには「予防・還元・修復」の3つのケアが必要だと考え、これまで「予防・還元」のホワイトエッセンスと「修復・還元」のホワイトリペアクリームの2種類の薬用美白美容液を発売し、ご好評をいただいてまいりました。新しく生まれ変わった「ホワイトエッセンス SP」では「予防・還元・修復」のトリプル美白が1本で可能となりました。季節を問わずお使いいただけ、無添加のやさしさはそのままに、よりパワーアップした機能で、透明感あふれる白美肌へアプローチします。

新発売! アテニア

肌エネルギー回復美容液「ビタアミノチャージ」

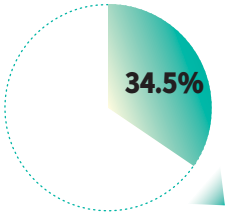
16種類のアミノ酸、ビタミン・ミネラルなど、肌が必要とする栄養素を豊富に含んだ沙棘（サーチ）のエキスを化粧品として初めて配合しました。補給した栄養をエネルギーに変換し、無駄なく肌の疲れを癒します。天然の香りによるアロマセラピー効果と、つけてすぐに実感できる心地よい使用感で、肌の栄養ドリンクのような美容液です。

沙棘（サーチ）って?!

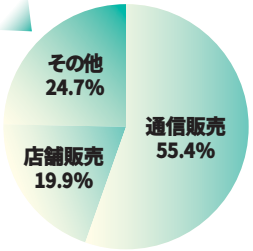
グミ科の植物。貧弱な土壌や険悪な環境のなかでも生育し、古来から「生命の果実」、「砂漠の人参」、「果物の王」と呼ばれ、珍重されてきました。チベット医学やモンゴル医学で、民間薬として利用されています。

健康食品関連事業

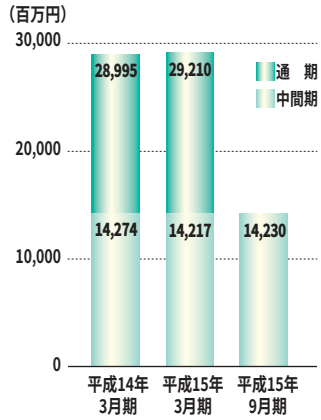
事業別
売上高構成比



販売チャネル別
売上高構成比



売上高



健康食品関連事業の売上高は、14,230百万円（前年同期比0.1%増）となりました。

5月に新製品「シェイプ デザイン サプリメント」、韓国新薬と共同開発した菌糸体エキスのサプリメント「ファンケル メシマコブ」を発売しました。
通信販売では、顧客数の減少が続き、売上高は7,879百万円（前年同期比4.6%減）となりました。製品別では、新製品効果によりダイエット関連製品およびハーブ製品は増加しましたが、サポートシリーズやビタミン・ミネラルなどの売上減少をカバーするには至りませんでした。
店舗販売では、化粧品販売が中心のファンケルハウスでの販売が好調だったことおよび銀座ファンケルスクエアの出店効果により、売上高は2,837百万円（前年同期比7.6%増）となりました。
その他の販売チャネルでは、9月にOEM製品の販売を開始したことにより、売上高は3,514百万円（前年同期比5.8%増）となりました。

Close Up

新発売!

菌糸体エキスのサプリメント「ファンケル　メシマコブ」

―ファンケルだから高品質、リーズナブル―

メシマコブとは、野生の桑の木にコブ状に寄生するキノコの一種で、近年アガリクスと同様注目されています。1993年、世界で初めて韓国新薬がメシマコブの菌糸体の培養に成功しました。「ファンケル メシマコブ」は、韓国新薬の協力のもと有用性が特に優れているとされる菌糸体PL2を使用。品質へのこだわりにはゆるぎない自信があります。

特長

1. 世界で初めて医薬品開発に成功した「韓国新薬」との共同開発
2. メシマコブ菌糸体（PL2）エキスを100%使用
3. 高機能・高品質でありながら、低価格を実現

パワーアップした「パーフェクトスリム ドリンクEX」

―さらに燃やして引き締まったボディに！―

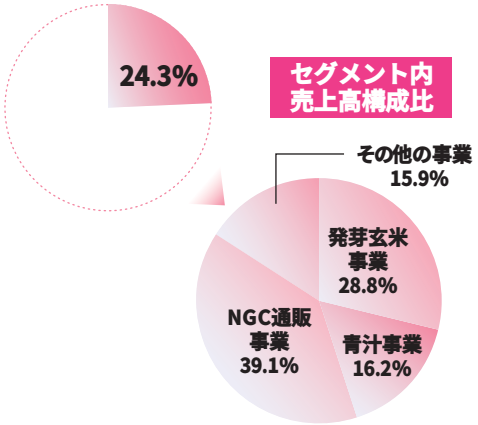
「パーフェクトスリム」は、手軽で効果的なダイエットを目的とした商品ブランドです。より本格的なダイエットを目指す方のために、ガルシニアや新たな機能成分を増強した「パーフェクトスリム ドリンクEX」を発売いたしました。

特長

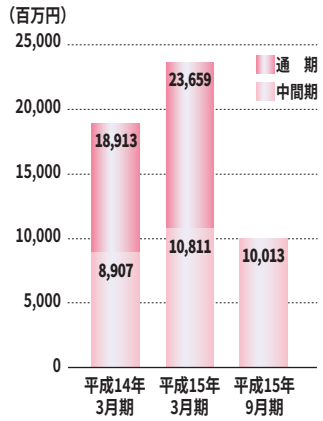
1. ダイエットに役立つ話題の成分「ガルシニア」増量
2. 脂肪の気になる方向けに、「ショウガ」と燃焼に役立つアミノ酸「リジン・メチオニン」を配合
3. シトラス&ジンジャー風味

その他事業

事業別
売上高構成比



売上高



その他事業の売上高は、10,013百万円(前年同期比7.4%減)となりました。

発芽玄米事業の売上高は2,881百万円(前年同期比9.3%減)となりました。通信販売は8kg、4kgなどの徳用タイプの販売は堅調に推移しましたが、ポップライスクラッカーなどの加工食品の売上が減少し、前年同期を下回りました。また全国米穀販売事業協同組合・ホクレン農業協同組合連合会へのOEM供給についても、取扱い店舗数の伸び悩みにより前年同期を下回りました。

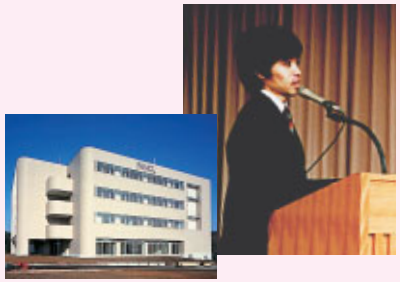
青汁事業は、年間定期購入者が増加したことにより通信販売が大幅に増加し、またコンビニエンスストアなど卸販売も好調に推移した結果、売上高は1,618百万円(前年同期比56.3%増)となりました。

NGC通販事業は、カタログの内容や配布先、製品ラインナップの見直しなどを行い、ビジネスモデルの再構築に取り組んでいるため、売上高は3,913百万円(前年同期比24.4%減)となりました。

その他の事業は、雑貨の販売が堅調に推移したことおよび銀座ファンケルスクエアのエステサロンなどの売上が当中間期から計上されたことにより、売上高は1,600百万円(前年同期比12.3%増)となりました。

Close Up

学会発表



ファンケル中央研究所

- 発芽玄米摂取による肌の柔軟性、コラーゲン量への効果に関する研究
- 発芽玄米による糖尿病予防の可能性に関する研究
- 発芽玄米による糖尿病の合併症への効果に関する研究
- ケールの脳機能改善作用に関する研究

「発芽米 あんしん自己紹介」

発芽米のトレーサビリティシステム(生産履歴追跡システム)を導入

“食の安全性”への関心が高まるなか、ファンケルではお客さまからの情報開示に対するご要望にお応えするため、「ファンケル発芽米」の生産履歴を公開するトレーサビリティシステム(生産履歴追跡システム)をスタートいたしました。ご家庭のパソコンから弊社ホームページにアクセスすることにより、簡単に検索できます。

「発芽米 あんしん自己紹介」画像イメージ
(発芽米トップページ　http://www.fancl.co.jp/genmai/)

(株)ファンケル発芽玄米
長野工場

新発売

ポップライスクラッカー 五穀
発芽玄米と
栄養価の高い雑穀4種を配合

リニューアル新発売

発芽米
<おかゆ>
海洋深層水使用で
さらにおいしく

発芽米 粉
<顆粒タイプ>
さっと溶けて
混ぜやすい

発芽米
<ごはん>
電子レンジで
たきたての発芽米

青汁粉末
スーパー野菜
「ケール」を
粉末スティックに

5月 「シェイプ デザイン」サプリメント＆ボディローション新発売

ファンケルは、サプリメント（内側）と化粧品（外側）のダブルアプローチで肌悩みに対応する内外美容を提案しています。フェイスケアを中心とした「基礎ケア」と「肌悩み別ケア」の内外美容に加え、新たに「ボディケアの内外美容」として、「シェイプ デザイン」サプリメントとボディローションを発売いたしました。

8月 シニアツアー最大規模の「ファンケル シニア クラシック」開催

8月22日（金）から24日（日）の3日間、静岡県裾野市にて「第3回ファンケル シニア クラシック」が開催されました。高橋勝成プロは、通算6アンダーの210で優勝し、大会3連覇を果たしました。優勝賞金1,500万円というシニアツアー史上最高賞金ということもあり、マスコミからも大変注目されている大会です。会場にはファンケルブースを設置し、青汁やサプリメントの試飲食コーナーには、多くのお客さまにお越しいただきました。ファンケルは、「シニアの元気なくして景気回復なし」を合い言葉に、今後も元気なシニアを応援していきます。

9月 （株）ファンケル美健　滋賀工場稼働

当グループの主力製品である無添加化粧品は、製品の特性上、製造年月日を付し、在庫を極力持たない生産体制をとっております。したがって、ひとたび関東を中心に震災などの災害が発生した場合、現在千葉工場にて生産している化粧品の供給に支障をきたす可能性を想定し、そのリスクヘッジと、今後の業容拡大に備えて、滋賀県蒲生郡日野町に工場を建設いたしました。この新工場が9月から稼働したことで、東西における2工場体制が確立されました。

	敷地面積	床面積
滋賀工場	28,000坪	5,800坪

中間連結貸借対照表

（単位:百万円）

科目	前中間期 平成14年9月30日現在	当中間期 平成15年9月30日現在	前期 平成15年3月31日現在
（資産の部）			
流動資産	43,393	39,632	41,207
現金及び預金	19,460	17,473	18,638
受取手形及び売掛金	8,178	7,650	8,220
有価証券	7,731	7,732	7,731
たな卸資産	6,551	4,872	5,103
その他の流動資産	1,471	1,904	1,513
固定資産	35,465	39,721	38,596
有形固定資産	23,165	26,982	26,109
建物及び構築物	9,578	10,920	11,198
その他の有形固定資産	13,586	16,061	14,910
無形固定資産	2,102	2,102	2,036
投資その他の資産	10,198	10,636	10,450
投資有価証券	1,020	1,022	947
長期貸付金	1,031	1,014	1,010
保証金	2,408	2,407	2,464
その他の投資その他の資産	5,737	6,191	6,028
資産合計	78,859	79,353	79,804
（負債の部）			
流動負債	10,709	9,791	11,403
支払手形及び買掛金	3,401	2,721	3,341
その他の流動負債	7,308	7,069	8,062
固定負債	2,048	2,794	2,050
長期借入金	150	—	—
その他の固定負債	1,898	2,794	2,050
負債合計	12,758	12,586	13,454
（資本の部）			
資本金	10,795	10,795	10,795
資本剰余金	11,706	11,706	11,706
利益剰余金	44,963	49,756	48,027
その他有価証券評価差額金	△13	18	△9
為替換算調整勘定	△9	△6	0
自己株式	△1,341	△5,502	△4,168
資本合計	66,100	66,766	66,349
負債・資本合計	78,859	79,353	79,804

中間連結損益計算書

（単位:百万円）

科目	前中間期 自 平成14年4月 1日 至 平成14年9月30日	当中間期 自 平成15年4月 1日 至 平成15年9月30日	前期 自 平成14年4月 1日 至 平成15年3月31日
売上高	43,538	41,198	90,025
売上原価	14,641	14,055	31,044
売上総利益	28,896	27,142	58,981
販売費及び一般管理費	23,304	22,252	47,455
営業利益	5,591	4,889	11,526
営業外収益	525	470	891
営業外費用	188	196	567
経常利益	5,929	5,163	11,849
特別利益	19	0	7
特別損失	553	1,143	778
税金等調整前中間（当期）純利益	5,395	4,019	11,078
法人税、住民税及び事業税	2,585	2,138	5,001
法人税等調整額	△267	△351	△351
中間（当期）純利益	3,077	2,231	6,428

中間連結剰余金計算書

（単位:百万円）

科目	前中間期 自 平成14年4月 1日 至 平成14年9月30日	当中間期 自 平成15年4月 1日 至 平成15年9月30日	前期 自 平成14年4月 1日 至 平成15年3月31日
（資本剰余金の部）			
資本剰余金期首残高	11,706	11,706	11,706
資本剰余金中間期末（期末）残高	11,706	11,706	11,706
（利益剰余金の部）			
利益剰余金期首残高	42,245	48,027	42,245
利益剰余金増加高	3,077	2,231	6,428
利益剰余金減少高	358	502	646
利益剰余金中間期末（期末）残高	44,963	49,756	48,027

中間連結キャッシュ・フロー計算書

（単位:百万円）

科目	前中間期 自 平成14年4月 1日 至 平成14年9月30日	当中間期 自 平成15年4月 1日 至 平成15年9月30日	前期 自 平成14年4月 1日 至 平成15年3月31日
営業活動によるキャッシュ・フロー	3,283	3,235	9,828
投資活動によるキャッシュ・フロー	△2,094	△2,351	△5,582
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,977	△2,035	△5,432
現金及び現金同等物に係る換算差額	△20	△12	△27
現金及び現金同等物の増減額（減少：△）	△808	△1,164	△1,213
現金及び現金同等物期首残高	27,535	26,370	27,535
新規連結子会社の現金及び現金同等物の期首残高	20	—	48
現金及び現金同等物中間期末（期末）残高	26,747	25,205	26,370

中間貸借対照表

（単位:百万円）

科目	前中間期 平成14年9月30日現在	当中間期 平成15年9月30日現在	前期 平成15年3月31日現在
（資産の部）			
流動資産	33,743	28,701	30,665
固定資産	33,604	38,110	36,408
有形固定資産	18,525	19,402	19,687
無形固定資産	1,132	1,317	1,137
投資その他の資産	13,947	17,390	15,583
資産合計	67,348	66,811	67,074
（負債の部）			
流動負債	7,942	7,476	8,435
固定負債	1,348	2,022	1,221
負債合計	9,291	9,498	9,656
（資本の部）			
資本金	10,795	10,795	10,795
資本剰余金	11,706	11,706	11,706
利益剰余金	36,901	40,300	39,084
その他有価証券評価差額金	△4	13	1
自己株式	△1,341	△5,502	△4,168
資本合計	58,057	57,313	57,418
負債・資本合計	67,348	66,811	67,074

中間損益計算書

（単位:百万円）

科目	前中間期 自 平成14年4月 1日 至 平成14年9月30日	当中間期 自 平成15年4月 1日 至 平成15年9月30日	前期 自 平成14年4月 1日 至 平成15年3月31日
売上高	34,614	32,509	70,733
売上原価	11,666	11,692	24,520
売上総利益	22,947	20,816	46,212
販売費及び一般管理費	18,558	17,350	37,505
営業利益	4,388	3,465	8,707
営業外収益	769	711	1,235
営業外費用	178	158	419
経常利益	4,979	4,018	9,523
特別利益	14	—	16
特別損失	51	1,143	354
税引前中間（当期）純利益	4,942	2,875	9,185
法人税、住民税及び事業税	2,214	1,485	4,075
法人税等調整額	△128	△327	△217
中間（当期）純利益	2,856	1,718	5,327
前期繰越利益	377	315	377
中間配当額	—	—	288
中間（当期）未処分利益	3,233	2,033	5,416

会社情報

FANCL

●会社概要

会社名	株式会社ファンケル
英文名	FANCL CORPORATION
本店所在地	横浜市栄区飯島町109-1
本社事務所	横浜市中区山下町89-1
電話番号	045-226-1200（代表）
設立	昭和56年8月
資本金	10,795百万円
従業員数	609名　※パート・嘱託は除く
主な取引銀行	UFJ銀行 東京三菱銀行 みずほコーポレート銀行 横浜銀行

●役員

代表取締役会長	池森賢二
代表取締役社長	藤原謙次
常務取締役	成松義文
常務取締役	宮島和美
常務取締役	岡田隆吉
取締役	山本　尚
取締役	國分孝夫
取締役	松本克彦
取締役	石渡健一
取締役	須釜憲一
取締役	中島純也
常勤監査役	米田康弘
常勤監査役	池田文子
監査役	小関勝紀
執行役員	針谷吉典
執行役員	宮原修司
執行役員	片瀬信郎
執行役員	矢島　明
執行役員	平野　豊

●連結子会社一覧

会社名	住所	資本金	設立	議決権の所有割合	事業内容
(株)アテニア	横浜市栄区	150百万円	平成元年2月	100%	化粧品・健康食品の販売
ニコスター(株)	横浜市栄区	100百万円	昭和59年9月	100%	化粧品・健康食品の製造
(株)エヌ・ジー・シー	東京都渋谷区	160百万円	昭和37年12月	100%	健康器具・家庭用雑貨等の販売
(株)ファンケル発芽玄米	長野県小県郡東部町	95百万円	平成11年8月	84.6%	発芽玄米の製造
FANCL ASIA (PTE) LTD	シンガポール（オーチャード通り）	9,369千S$	平成12年3月	100%	海外販売統括
(株)ファンケル美健	横浜市栄区	50百万円	平成14年10月	100%	化粧品・健康食品の製造

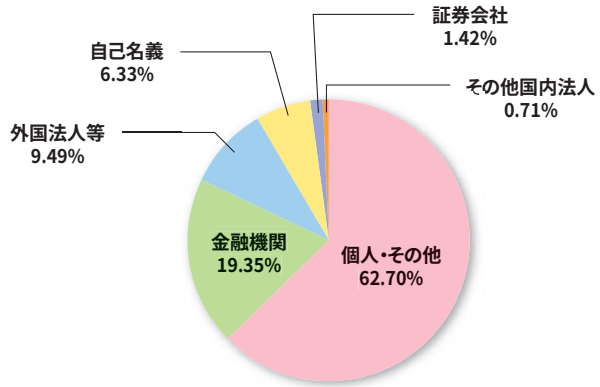
株式情報（平成15年9月30日現在）

FANCL

●株式の状況

証券コード	4921（東証1部）
会社が発行する株式の総数	77,946,000株
発行済株式の総数	23,392,200株
株主数	21,181名

●所有者別株式数の状況



株主メモ

決算期日	3月31日
定時株主総会	6月中
基準日	3月31日
1単元の株式数	100株
名義書換代理人	東京都千代田区丸の内一丁目4番3号 UFJ信託銀行株式会社
同事務取扱場所	東京都江東区東砂七丁目10番11号 UFJ信託銀行株式会社 証券代行部　TEL. 03-5683-5111
同取次所	UFJ信託銀行株式会社　全国各支店
公告の方法	日本経済新聞に掲載

＊当社株式に関する事務手続き用紙（お届出の住所・姓名・印鑑等の変更届、配当金振込指定書、単元未満株式買取請求書、名義書換請求書等）のご請求につきましては、左記名義書換代理人にてお電話並びにインターネットにより24時間承っておりますので、ご利用ください。

(通話料無料)
0120-24-4479（本店証券代行部）
0120-68-4479（大阪支店証券代行部）

インターネットアドレス
http://www.ufjtrustbank.co.jp

FANCL
株式会社ファンケル
[本　　店] 〒247-8577 横浜市栄区飯島町109-1
[本社事務所] 〒231-8528 横浜市中区山下町89-1
TEL: 045(226)1200(代表)
当社に関する情報についてはホームページでもご覧いただけます。
http://www.fancl.co.jp

ファンケル スクエア

4月のオープン以来、大好評のファンケルスクエア。ファンケル製品がお求めいただけるショップの他、気軽にご利用いただけるエステサロンや素材にこだわった健康志向の飲食フロアなど、内外美容を総合的に体感できます。是非お立ち寄りください。

8·9F　レストラン　泥武士
安心、安全に徹底的にこだわった野菜を中心とした料理が楽しめます

6F　スクエア クリニック
最先端のメディカルエステで、キレイを実現するクリニック

4F　ファンケル ショップ
テスターコーナーも充実し、ファンケル製品を自由に見て試せます

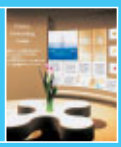
2F　ファンケル カフェ
青汁・発芽玄米で作ったおいしいデザートが楽しめるカフェ

B1F　ファンケル キッチン
ヘルシーでおいしい食事をカフェテリア形式で気軽に

FANCL SQUARE

7F　ファンケル エステティックサロン —パーソナル—
心地よいリラクゼーションの空間でのトータルエステ

5F　ファンケル エステティックサロン —カジュアル—
カジュアルで気軽にエステを体験できます



3F　ファンケル ラボ
美容・健康の器機測定とカウンセリングが無料で体験できるフロア

1F　ファンケル パークアベニュー（エントランス）
「滝」と「壁画」の明るく開放的なエントランス

Address: 東京都中央区銀座5丁目8-16

Access: 地下鉄銀座駅A3出口より徒歩1分
JR有楽町駅より徒歩7分

環境に配慮して再生紙を使用しています。